

取組み報告書

令和7年度 福山市介護職員等負担軽減支援アドバイザー派遣事業

【株式会社グレイス・ケア 千の恵み訪問看護ステーション】



一般社団法人
日本福祉用具供給協会
中国支部 広島県ブロック

施設の概要



一般社団法人
日本福祉用具供給協会
中国支部 広島県ブロック

施設の概要



施設名	千の恵み訪問看護ステーション
施設種別	訪問看護
職員数	21名
開設日	2023年1月6日
所在地	本社：福山市引野町3丁目7-20 3F サテライト北：福山市御幸町森脇524-4 A

取組みの流れ

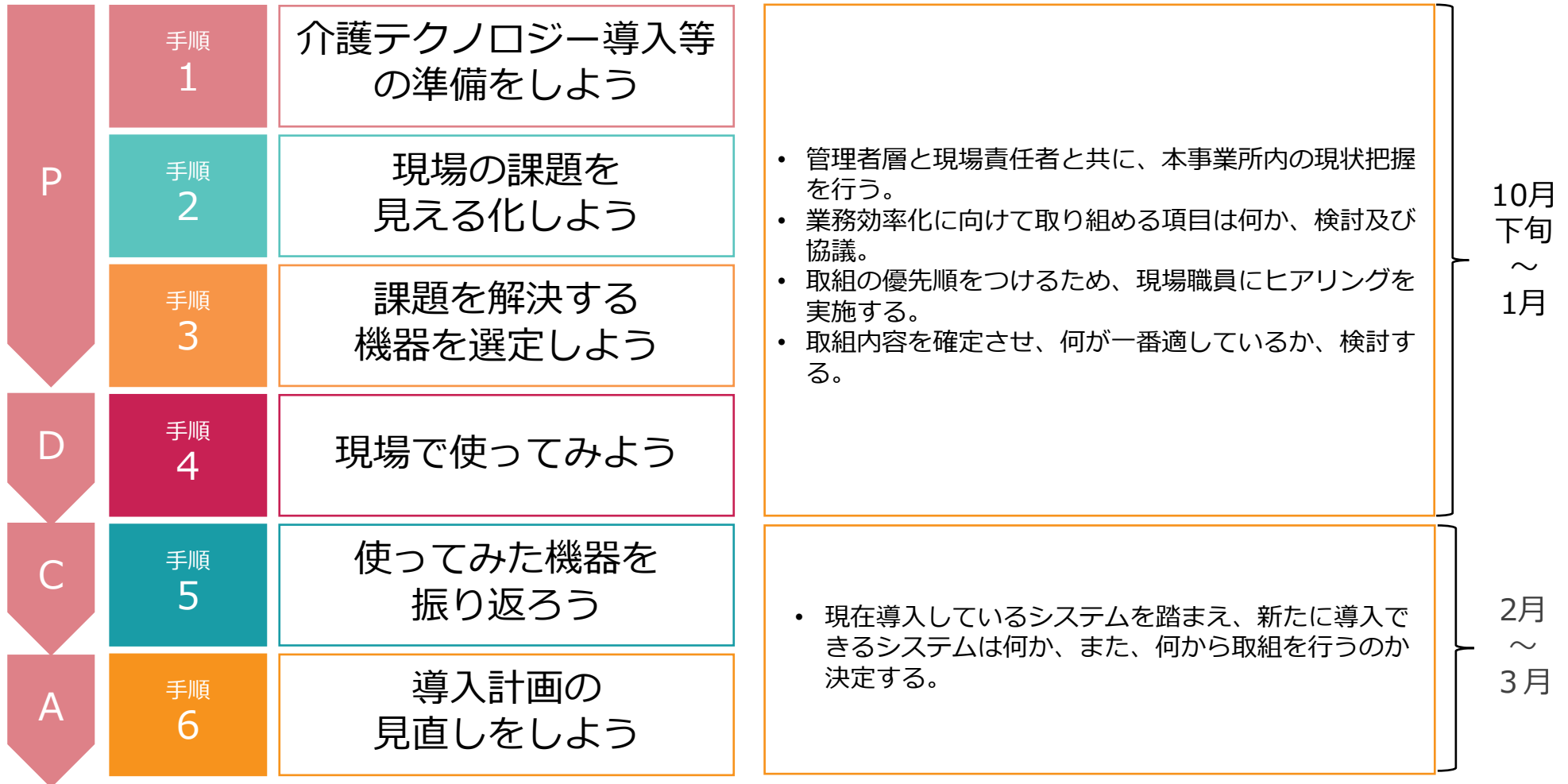


一般社団法人
日本福祉用具供給協会
中国支部 広島県ブロック

取組みの流れ

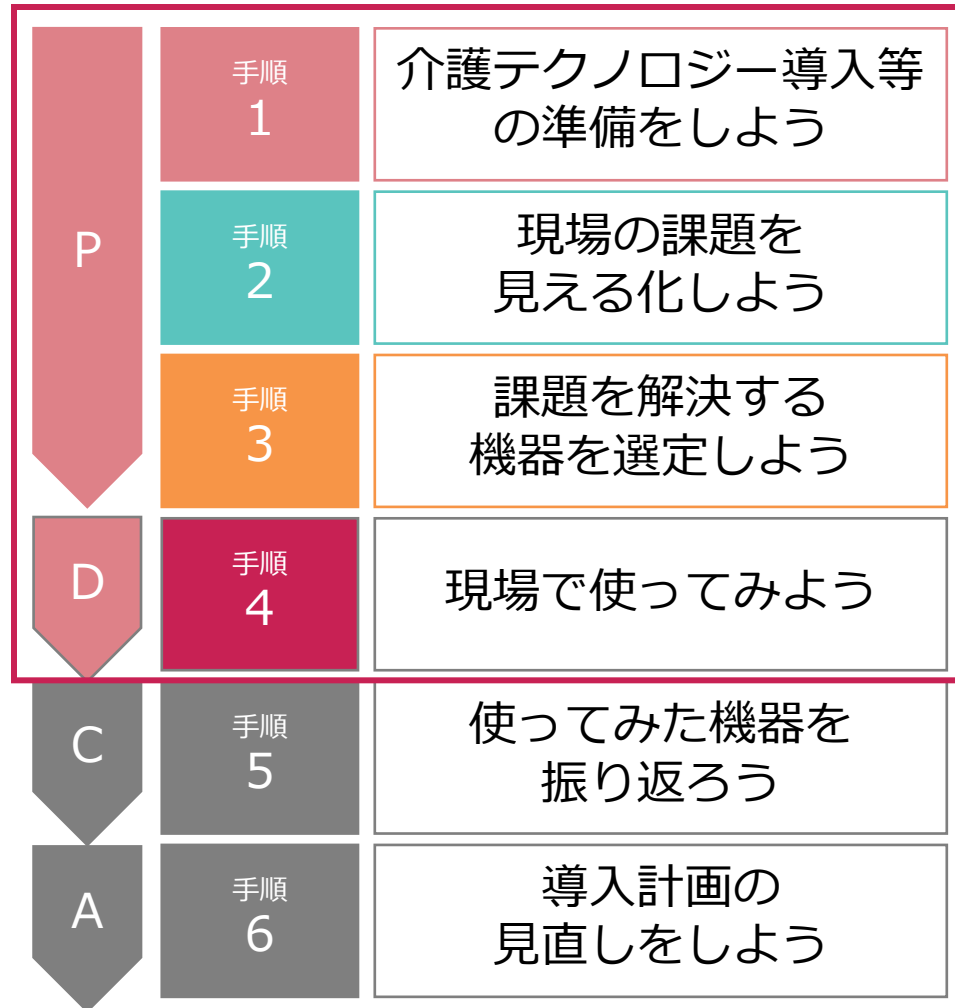
取組の流れ

具体的な取組み内容



取組みの結果

取組の流れ



手順1 介護テクノロジー導入等の準備をしよう

実施内容

- 立ち上げたプロジェクトチームメンバーと共に、現在の取組と課題を把握。
- 一層の業務効率化を図るために、ランチミーティング等で事業所として取組ができる項目を検討、協議を行う。



手順2 現場の課題を見える化しよう

実施内容

- 現在までに行った取組の振り返りを実施。困っていることを列挙する。
- その中で改善できる余地があるものを抽出。
- 今後の取組の優先順位をつけるため、現場スタッフにヒアリングを行う。

見える化された課題

- 実績報告書作成について、一つ一つスタッフが確認し、要約して作成しており、とても時間がかかっている。印刷時間もかかり手間である。
- ご利用者様や他の事業所との連携の中で、紙のやり取りが多く、手間がかかっている。

(考察)

抽出された課題は、システムの導入で概ね解決することのできるものばかり。
何から解決していくか、現場スタッフを交えて共通のものにすることが重要。

手順3 課題を解決する機器を選定しよう

今回選んだ解決したい課題

- ご利用者様や他の事業所との連携の中で、紙のやり取りが多く、手間がかかっている。

その理由・背景

- ヒアリングの結果、現場スタッフとも共通課題であると判断されたため。

解決した後の姿（目標）

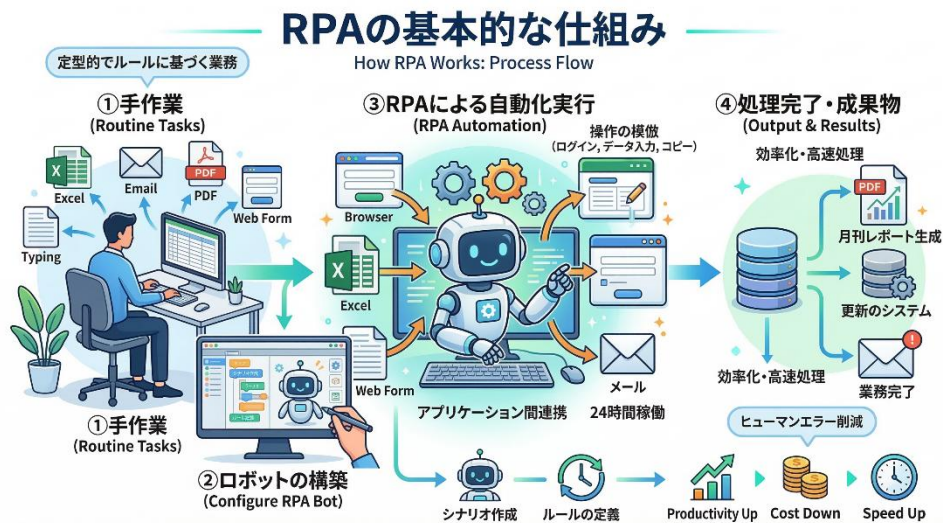
- ペーパレス化が進み、情報の連携・保管がスムーズに行うことができ、現場スタッフの作業負担の軽減が図られている。

手順4 現場で使ってみよう

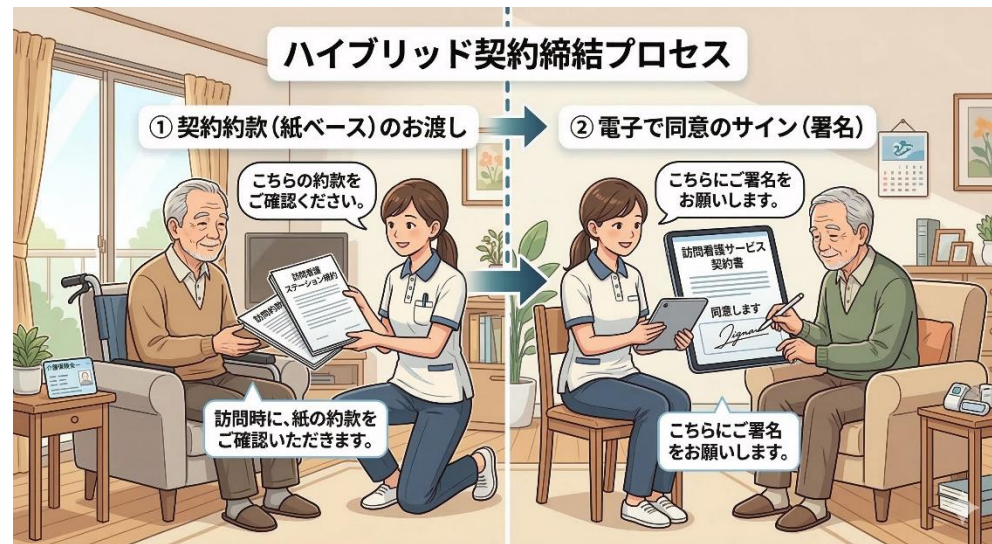
実施内容

- RPAツール開発による記録媒体からの報告書自動印刷の実装。
- 業務におけるペーパーレス化を進めるため、契約書類の電子化を行うべく、商品検討を進める。

実装システム及び今後導入するシステム（イメージ）



※一部業務のオートメーション化（イメージ）



※電子契約（イメージ）

取組みの結果

取組の流れ



手順 5～6 取組の振り返りと導入計画の見直しをしよう

取組の振り返り・方向性の確認

- 現場スタッフを交えたミーティングの場にて、現在の取組および今後の方向性について協議。

集まった現場の声

- 毎月、印刷から振り分けまで7・8時間かかっていた。だが、振り分けだけで済むため、2～3時間でできる様になった。
- AI化や自動化での業務効率改善が実感できた。（イメージしやすくなった）

振り返りを踏まえた今後の活動

- ペーパーレス化を推進していくため、検討を進めている契約書への同意の電子化を実施することに決定。
- その他の項目については、引き続き情報収集を行いながら、PDCAサイクルを回していく。（報告書作成へのAI機能導入等）

まとめ

全体を通してのコメント（アドバイザーより）

令和7年度 福山市介護職員等負担軽減アドバイザー派遣事業にエントリーいただき、誠にありがとうございました。

在宅サービスの生産性向上の取組は、実態としてなかなか進んでおらず、本事業所の取組は、他の事業所の方にとっても参考となる事例だと考えております。

経営層のみならず、現場スタッフの方の理解をきちんと得ることができていらっしゃる、事業所として前向きに取組をされている点が何より素晴らしいと思います。

在宅サービスでの生産性向上の取組は、今後ますます重要度が増してくると予想しております。是非、地域の皆様への情報発信・横展開をお願い申し上げます。

引き続きよろしくお願いたします。



一般社団法人
日本福祉用具供給協会
中国支部 広島県ブロック